

鶴岡らしい農業の創生へ

―鶴岡市農業・農村振興計画「つるおかアグリプラン」後期計画を策定しました―

本市では、海や山、平野や中山間地域など豊かな環境の中、安全でおいしい農産物が、長年の経験と優れた生産技術を有する生産者の手によって、連綿と受け継がれ育まれてきました。しかし現在、米価の長期的な低迷や米政策の大幅な見直しなど、農業を取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。このような状況にあるときこそ、関係者全ての力を結集し、魅力ある豊富な資源を活用しながら、本市ならではの農業政策を展開していく必要があります。 ◎問合せ 本所農政課 ☎25・2111 内線588



本市の農業を取り巻く状況

本市の農業を取り巻く環境は、農家の高齢化による担い手不足や耕作放棄地の拡大、人口減少や嗜好の変化による農産物の地元消費量の減少、鳥獣被害エリアの拡大など、農業収入の減少、営農意欲の減退にもつながる深刻な問題を抱えています。また、主力である水稲は、米価の長期的な下落傾向に歯止めがかからず、他の農産物も激化する産地間競争によって価格の低迷が続いています。

一方で、他に誇れる豊富な農産物資源を有しているこ

とも事実であり、こうした地域の宝をうまく活用した農業施策がこれまで以上に重要となります。本市は昨年十二月にユネスコ創造都市ネットワーク食文化部門への加盟が認定されたほか、今年イタリアで開催される2015ミラノ国際博覧会にも出展予定です。世界へ向けた「食」のPRによって「農」も広く発信できる絶好の機会と捉えています。

「つるおかアグリプラン」の策定

本市は、昨年三月に「鶴岡市総合計画後期基本計画（平成三十年度までの五年計画）」を策定し、新たなまちづくり

の指針として各種施策を展開することとしています。この中で、本市の基幹産業である農業は、環境保全型農業や農工商観連携、六次産業化、産地消、グリーン・ツーリズムの推進など、鶴岡ルネサンス宣言に基づくまちづくりの一翼を担うものと改めて位置付けられました。

この総合計画の農業分野の実行計画として、今年三月に「鶴岡市農業・農村振興計画『つるおかアグリプラン』後期計画（三十年度までの四年計画）」を策定し、農業の活力と地域の豊かさの更なる向上に向け、様々な取り組みを展開することとしています。

地元消費者の皆さんにご協力ください

この計画では、関係各方面がその役割を果たしながら、本市の資源を最大限に活用し、生産・加工・販売の好循環を進めることとしています。農産物の安定的な供給を図り、産地としての責務を果たすとともに、本市の農業の可能性を最大限に発揮し、所得の向上と将来も安心して農業に取り組むことができる環境の実現を目指します。地元消費者である市民の皆さんは、鶴岡産の農産物等を支持し、その良さを広く伝える取り組みにぜひご協力ください。



—— 鶴岡市農業・農村振興計画「つるおかアグリプラン」後期計画 ——

(計画期間：平成27年度～30年度)

■基本的な方向性

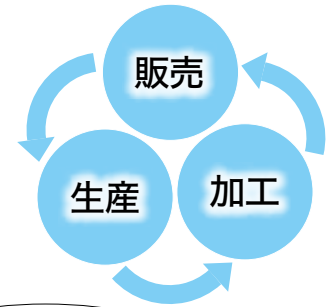
“鶴岡らしい農業”の創生

- ◇恵まれたポテンシャルを最大限に活用した農業の推進
- ◇「オール鶴岡^{*}」で臨む推進体制と役割分担の明確化

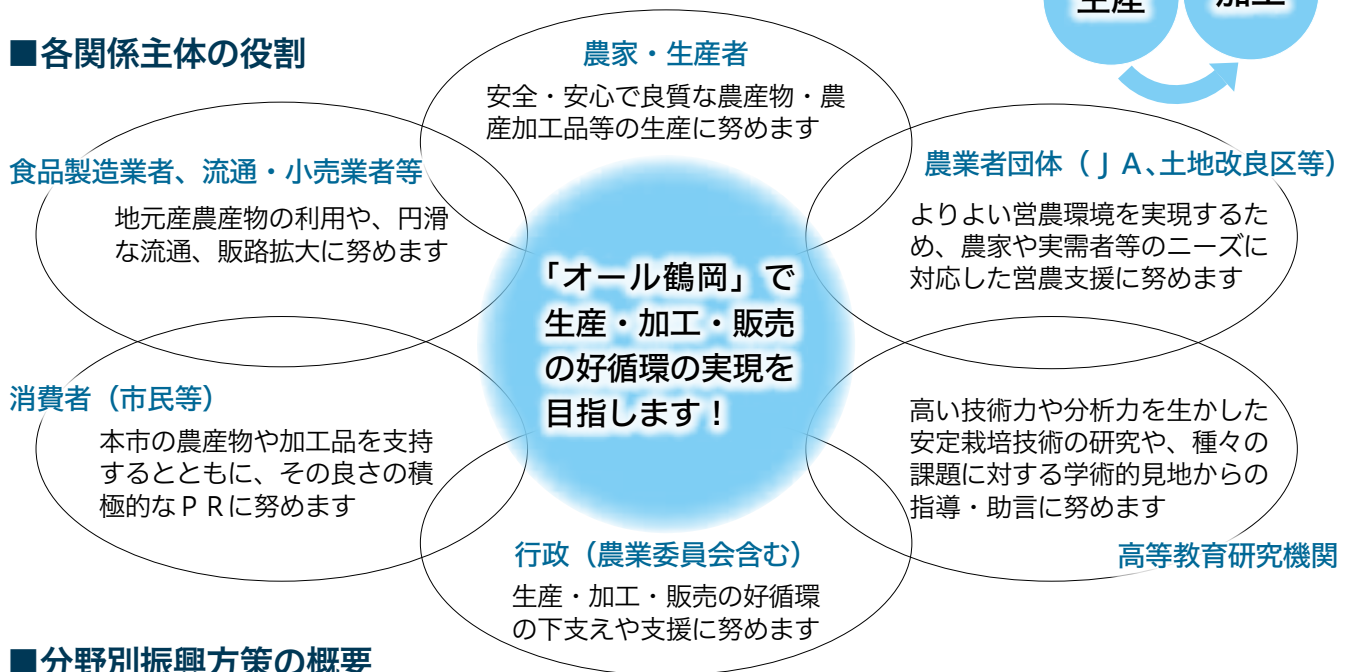
※「オール鶴岡」：恵まれた農業資源や農業を取り巻く環境をはじめ、生産者や農業者組織・団体、加工品製造業者、消費者（市民）、高等教育研究機関など本市の農業に関わる全ての関係者等、農業振興を図るための地域の総合力のこと。

■基本テーマ

生産・加工・販売の好循環の実現！



■各関係主体の役割



■分野別振興方策の概要

1. 担い手の安定的な育成と確保

- ・認定農業者と意欲ある農業者の育成
- ・農業後継者の育成
- ・U・Iターン等の新規就農者の確保
- ・地域に合った営農形態の確立

2. 優良農地確保と効率的土地利用

- ・農地の保全と優良農地の確保
- ・農地利用集積と作業集積の誘導
- ・耕作放棄地の再生と未然防止の強化

3. 地域特性を生かした産地づくり

- (1) 売れる米づくりの推進
 - ・需要を意識した米づくりとブランド化
 - ・安全・安心・良食味米生産の推進
 - ・低コスト・複合化による経営安定化
- (2) 土地利用型作物の安定生産
 - ・地域の状況に適した生産の振興
 - ・品質・収量の向上による経営安定化
- (3) 園芸の振興
 - ・園芸産地の生産力向上
 - ・特産農産物の競争力強化
 - ・特色ある農産物による産地づくり

- ・降雪や異常気象等の自然環境を克服する園芸産地の形成

(4) 畜産の振興

- ・足腰の強い畜産の振興
- ・環境対策を考慮した畜産の振興
- ・家畜由来の病気の発生防止と発生時の緊急対応

4. 中山間地域の振興

- ・地域資源を有効活用した生産振興と小ロット農産物の加工・販売拡大の促進
- ・耕作放棄地の拡大防止と解消
- ・有害鳥獣の被害防止対策への支援
- ・中山間地域の農業の維持と活性化

5. 環境保全型農業の推進

- ・環境保全型農業（有機農業、特別栽培、減農薬の取り組み等）の全市的な推進
- ・有機性堆肥の安定的な確保と活用による土づくりの強化
- ・環境保全型農業を軸とした「鶴岡産農産物ブランド」の確立
- ・次代に向けた環境保全型農業の啓発と生物多様性の保全の推進

6. 農業生産基盤の整備

- ・農業生産の効率化と安定化を図るための農業生産基盤の整備促進
- ・災害発生の未然防止による農業生産の維持及び農業経営の安定
- ・多面的機能支払の推進

7. 交流人口拡大と農山村の活性化

- ・農業・農村資源を生かした体験メニューの掘り起こしとプログラム化
- ・事業の発展段階に応じた民間旅行者等事業者との連携

8. 農業の6次産業化の促進

- ・農業の6次産業化に取り組みやすい環境整備
- ・農商工観連携の強化

9. 地産地消の推進

- ・地域農業への理解の促進
- ・鶴岡産農産物の地元消費拡大
- ・学校給食への地元農産物利用促進